



## 2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年12月25日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 2020年12月25日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	10,713	35.1	2,544		2,319		2,439	
2020年2月期第3四半期	16,504	10.2	346		174		449	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	100.11	
2020年2月期第3四半期	18.47	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	11,239	2,028	18.0	83.24
2020年2月期	11,128	4,349	39.1	178.50

(参考)自己資本 2021年2月期第3四半期 2,028百万円 2020年2月期 4,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	28.5	2,950		2,700		2,950		121.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期3Q	24,470,822 株	2020年2月期	24,470,822 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年2月期3Q	105,251 株	2020年2月期	105,111 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	24,365,630 株	2020年2月期3Q	24,365,748 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
3. 補足情報 .....	7
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等について .....	7
(2) 商品別売上高 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、内需、外需とも大幅に悪化しました。5月に緊急事態宣言が解除されて以降、経済活動が徐々に再開したことにより回復の兆しは見られるものの、感染拡大は未だに終息せず、先行き不透明な状態が継続しております。

当アパレル・ファッション業界におきましても、外出自粛や各種イベントの中止縮小、リモートワークへの移行の加速等、購入動機の縮小により、厳しい経営環境が継続しました。

このようななか、当社は前事業年度より推進しております事業構造改革を継続し、更に当事業年度を商売の復活に向けた仕組みの構築を実行する1年と位置づけ、革新的な商品やサービスを迅速に発信し、業績の回復に向け各施策に取り組みました。

営業面では、現場の販売強化策として、商品価値の最大化とコーディネートや品揃え変化の訴求、リモートワークスタイルなど多様化するビジネススタイルに対応した「魅せる売り場づくり」に注力いたしました。

また、創業70周年を迎え、特別企画商品をシーズン毎に準備し周年記念セールを実施しました。

デジタル改革では、Eコマースの売上拡大に向けて、モバイルアプリをリニューアルし、オンラインショップとの連携を高める等、利便性の向上とコンテンツの充実を実現しました。また会員制度を整理統合し、タカキューポイントの導入等、会員特典の充実により魅力ある内容に見直すことで、会員数の拡大と再来店の促進に努めました。また店舗でのEコマース専用クーポンの配布や、専用クーポン付ダイレクトメールの発信等の一方で、Eコマース商品の発送時に店舗専用クーポンを添付する等、オムニチャネル化推進に取り組みました。

商品面では、クリエイティブディレクターの起用でMDプロセスを刷新したほか、はたらくヒトを応援する服「THE 3rd WARDROBE」の商品強化や、デジタル技術を駆使した体のサイズを測る「サイズテック」による新業態「redro」を立ち上げ、オーダーシャツ販売を開始しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、ファッション性と機能性のある各種マスクの販売、日常を楽しむための雑貨品の充実等、新しい生活様式に相応しい品揃えに注力しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大による外出自粛等の影響に加え、気温が高めに推移したことにより秋物商品・防寒衣料が苦戦し、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は30.7%減となりました。

その様な中でEコマースの売上高は前年同期比62.9%増と堅調に拡大しております。

店舗面では、既存店改革としてPB戦略を強化するべく、「renoma HOMME（レノマ オム）」、オーダー専門業態「スーティスト」の各インショップを併設した新しいタイプのタカキュー店舗をそれぞれ1店舗出店した一方、事業構造改革の一環として不採算店舗等の退店を進め、タカキュー18店舗、メール・アンド・コー1店舗、セマンティック・デザイン2店舗、エム・エフ・エディトリアル2店舗、シャツ・コード2店舗、ウィルクス・バシュフォード1店舗、グランバック2店舗退店した結果、当第3四半期会計期間末では前年同期比37店舗減の246店舗となりました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は107億1千3百万円（前年同期比35.1%減）、営業損益は25億4千4百万円の損失（前年同期は営業損失3億4千6百万円）、経常損益は23億1千9百万円の損失（同経常損失1億7千4百万円）、四半期純損益は24億3千9百万円の損失（同四半期純損失4億4千9百万円）となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して1億1千1百万円増加し、112億3千9百万円となりました。主な要因は、流動資産で売掛金が1億5千8百万円、商品が6億2千1百万円、固定資産で投資その他の資産の関係会社株式が1億9千3百万円それぞれ増加し、流動資産で現金及び預金が2億1千7百万円、固定資産で有形固定資産が1億4千8百万円、投資その他の資産の差入保証金が1億1千1百万円、敷金が2億9千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して24億3千2百万円増加し、92億1千1百万円となりました。主な要因は、流動負債で短期借入金が14億5千6百万円、未払金が納税・社会保険料等の猶予制度を活用したこと等により5億7千8百万円、店舗閉鎖損失引当金が1億9百万円、資産除去債務が2億2千1百万円、固定負債で長期借入金が5億円それぞれ増加し、固定負債で資産除去債務が3億6千9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して23億2千万円減少し、20億2千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が24億3千9百万円減少したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期の業績予想につきましては、2020年10月2日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	795,876	577,995
売掛金	1,400,528	1,559,051
商品	3,571,954	4,193,758
貯蔵品	113,696	76,468
その他	269,090	201,421
流動資産合計	6,151,147	6,608,695
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	512,803	406,406
機械及び装置（純額）	5,816	5,087
器具及び備品（純額）	138,300	115,646
リース資産（純額）	67,238	47,067
その他（純額）	2,927	4,847
有形固定資産合計	727,085	579,056
無形固定資産	352,602	379,329
投資その他の資産		
関係会社株式	378,279	572,279
賃貸不動産（純額）	73,520	72,078
差入保証金	153,572	42,515
敷金	3,256,399	2,957,601
その他	35,549	27,733
投資その他の資産合計	3,897,320	3,672,206
固定資産合計	4,977,008	4,630,592
資産合計	11,128,156	11,239,288

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619,709	847,677
電子記録債務	2,387,170	2,168,049
短期借入金	199,285	1,655,981
未払金	817,986	1,396,286
未払法人税等	155,268	239,326
リース債務	45,485	46,072
賞与引当金	97,627	—
店舗閉鎖損失引当金	22,974	132,741
資産除去債務	145,582	367,545
その他	449,110	377,805
流動負債合計	4,940,201	7,231,486
固定負債		
長期借入金	—	500,000
リース債務	181,756	147,128
資産除去債務	1,391,407	1,021,512
繰延税金負債	155,830	209,293
その他	109,775	101,650
固定負債合計	1,838,770	1,979,584
負債合計	6,778,971	9,211,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	100,000
資本剰余金	568,485	2,468,485
利益剰余金	1,655,980	△783,215
自己株式	△26,435	△26,453
株主資本合計	4,198,029	1,758,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	151,155	269,401
評価・換算差額等合計	151,155	269,401
純資産合計	4,349,185	2,028,218
負債純資産合計	11,128,156	11,239,288

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）
売上高	16,504,236	10,713,883
売上原価	6,238,463	4,485,499
売上総利益	10,265,773	6,228,383
販売費及び一般管理費	10,611,840	8,773,156
営業損失（△）	△346,066	△2,544,772
営業外収益		
不動産賃貸料	232,395	216,075
手数料収入	74,740	64,597
助成金収入	—	140,728
その他	28,646	35,262
営業外収益合計	335,782	456,663
営業外費用		
アレンジメントフィー	—	51,500
不動産賃貸費用	148,900	142,395
その他	15,364	37,298
営業外費用合計	164,264	231,193
経常損失（△）	△174,549	△2,319,302
特別損失		
減損損失	30,897	58,125
特別損失合計	30,897	58,125
税引前四半期純損失（△）	△205,446	△2,377,428
法人税、住民税及び事業税	88,672	84,057
法人税等調整額	155,861	△22,290
法人税等合計	244,534	61,767
四半期純損失（△）	△449,980	△2,439,195

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2020年5月22日開催の第71回定時株主総会において、今後の当社における成長戦略を実現するために財務戦略の一環として、機動的かつ柔軟な資本政策の実現を目的とした「資本金の額の減少の件」を決議し、2020年7月1日付でその効力が発生しております。この結果、第3四半期会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が2,468,485千円となっております。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う政府による「緊急事態宣言」が全国に拡大され、当社店舗においては営業休止・営業時間の短縮を実施しました。その後同宣言の解除により営業を再開しておりますが、外出自粛等の影響は当面続くものと思われまます。このため、固定資産に関する減損損失の計上要否の判断、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行うにあたっては、業績は当事業年度末にかけて徐々に回復していくものと仮定しておりましたが、当第3四半期会計期間末時点で入手可能な情報に基づき、来年度前半まで影響が残るものとの仮定に変更して、判断しております。

3. 補足情報

（1）継続企業の前提に関する重要事象等について

当社は、前事業年度において、営業損失4億3千1百万円、当期純損失10億5千1百万円、営業キャッシュ・フローで1億2千8百万円の支出を計上し、当第3四半期累計期間においても営業損失25億4千4百万円、四半期純損失24億3千9百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提にかかる重要な疑義を解消するための対応策として、取引金融機関との総額14億円の当座貸越契約締結に加えて、シンジケーション形式のコミットメントライン契約を11億5千万円締結しているほか、納税猶予制度、社会保険料等の納付猶予制度の活用、さらに商工組合中央金庫からの借入5億円等により、十分な運転資金を確保できるものと判断しております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

（2）商品別売上高

	前第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		前事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	6,856,315	41.5	4,439,168	41.4	9,396,102	42.0
中衣料	831,964	5.0	504,040	4.7	1,550,874	6.9
軽衣料	8,181,318	49.6	5,319,675	49.7	10,492,203	46.9
その他衣料等	634,637	3.9	450,998	4.2	941,768	4.2
合計	16,504,236	100.0	10,713,883	100.0	22,380,948	100.0

（注）1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。